



広報

かなぎ

編集と発行

金木町企画室

青森県北津軽郡金木町
大字金木字朝日山323
電話 ☎ 2111 内線240

恐竜が僕達と遊んでくれる



1995

11

No.354

11月3日、芦野園内の
こども広場にて

金木町育苗培土供給施設完成

水稲部門を中心として、健全安定供給による生産性及び品質の向上と作業の合理化、労働力の省力化、コストの低減を図るため、平成六年度経営基盤確立農業構造改善事業として国の補助を受け、同年から工事着工していた『金木



▲完成した育苗培土供給施設
▼玉串奉典をする田中町長



町育苗培土供給施設』が、このほど完成しました。

この育苗培土供給施設は、金木町が事業主体となり、中柏木字不動野四八の三八に敷地面積一千五十三㎡で鉄骨造り平屋建ての培土製造棟（三百四十七・四二㎡）と、同じく鉄骨造り平屋建ての原土置場棟（三十二・九八㎡）を総事業費一億四十万円を投じ建設されたものです。

金木町では、若年層の農業従事者の減少と農業就業者の高齢化を背景に労働力不足が深刻化し、生産の停滞と活力の低下が目立っています。地域の担い手たる効率的かつ安定的な農業を行う経営体の育成と地域の特性を踏まえ生産性の高い育苗培土供給施設を導入することで農家の栽培意欲が向上し健全な農業経営が図られ、地域経済の安定化と農家の所得向上を図るための手段として「育苗培土供給施設」が建設されました。

培土方法は、原土からトンネルで石等を取り除き、焼土機で病害虫や雑草種子を焼き肥料を混ぜ合わせて完成。

同施設は今後、嘉瀬農業協同組合（組合長 吉崎忠直）が管理主体となります。操業は来年一月から。これから健康が簡単に作れ、良質の米作りに期待がかかります。

育苗培土供給施設

区分	金額
設計監理	1,911千円
建築工事	33,578千円
電気工事	7,931千円
外構工事	4,393千円
機械施設	47,019千円
備品	5,568千円
合計	100,400千円

施設内容

対象面積	254.0ha
生産量	494.0 t
一日当り処理量	5.2 t
乾燥方法	直接加熱方式

秋の叙勲 角田氏が受章

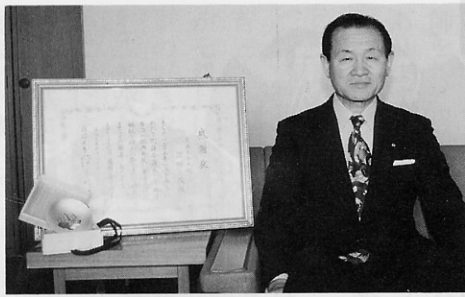
勲五等瑞宝章 社会福祉功勞

角田 正 男（七十七歳） 金木本町



昭和二十一年四月から四十九年間の長きにわたり、青森県傷痍軍人会理事等を勤め、病軍人の地位向上と更生援護活動に尽力したのを始めとして、金木町身体障害者福祉会会長を四十八年間にわたり勤め、更には、金木町社会福祉協議会理事副会長に四十一年間就任する等、地域福祉の向上に勤めたことが認められこの度の受章となりました。角田氏は、「照れると同時に大変嬉しい。今後も社会福祉のために尽力したいです」と話していました。

沢田議員自治大臣より感謝状



▲感謝状を受け喜ぶ沢田さん

昭和三十五年三月から九期三十五年の長期にわたり、町議会議員として在職し、議会運営はもとより住民福祉の向上と地域の振興発展に功勞したことが認められ、沢田茂さんに十月三十日、自治大臣より感謝状が贈られました。沢田さんは「これからも引き続き、金木町の発展のために研さんを積んで努力していきたい」と話していました。

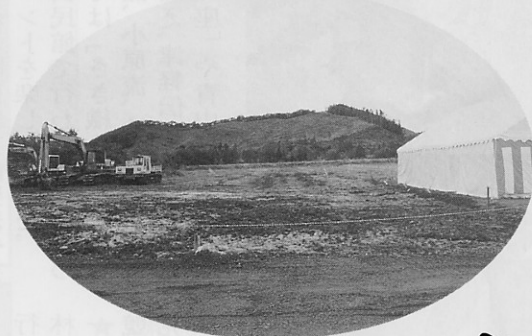


▲安全祈願祭でくわ入れを行う田中町長

ゴミの推定処分量五万三千二百五十五立方メートルとし、埋め立てたゴミに随時、土をかけるセル方式で処分目標年次十五年となっています。安全祈願祭には、役場関係者や建設工事関係者等、約四十人が出席。神事後、田中町長等がくわ入や玉ぐしをささげて工事の安全祈願を行いました。

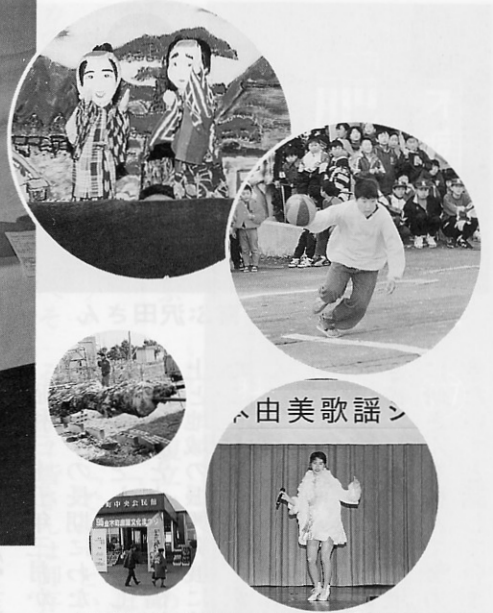
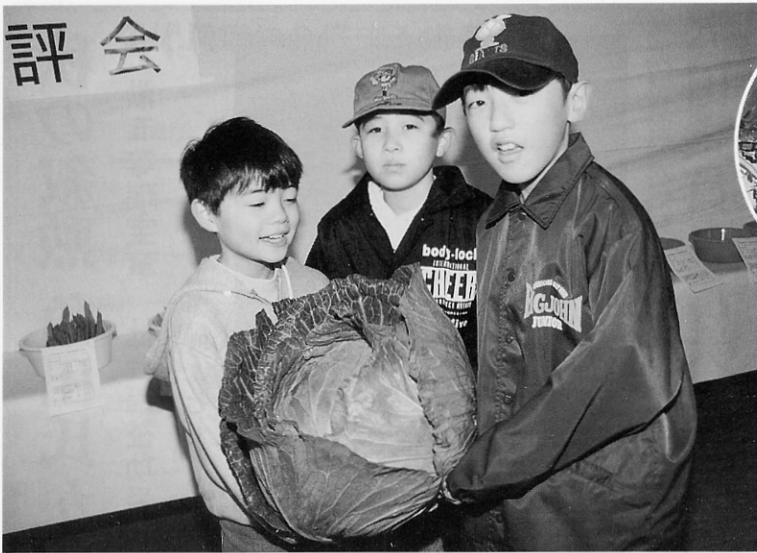
金木町一般廃棄物最終処分場建設

安全祈願



喜良市字小田川山地区に一般廃棄物最終処分場を建設することになり、十月十九日に現地で安全祈願祭が行われました。

町民の皆さんが便利で快適な日常生活を営めるように、これから建設する一般廃棄物処分場は、喜良市字小田川山一番地三号に総面積六万九千八百四十平方メートルで、総事業費七億八千八十万二千円をかけて九年三月完成予定です。



'95金木町 産業 文化まつり



金木町産業文化まつりが、中央公民館と農業者トレーニングセンターを会場に十一月三日から五日まで開かれ、町民は芸能発表や多彩なイベントを楽しみました。

中央公民館で行われた文化まつりの部では「さき織り、パッチワーク作品、小原流、池坊お華」等の展示に加え、津軽伝統人形芝居「金多豆蔵一座」や青山良平文化講演

会が催され、テンポのよい津軽弁で子供からお年寄りまで楽しませてくれました。

農業者トレーニングセンターで行われた産業まつりの部では、農林産物品評会出品物の展示の他、一分間に何回米俵をかつげるかを競う「俵かつぎ競争」が行われ、見る人も手に汗握る戦いを繰り広げました。



第十七回金木町 総合体育大会

◆ゲートボールの部
優勝 嘉瀬Aチーム
準優勝 喜良市チーム

◆卓球の部

◎小学生の部

(四年男子の部)

一位 角田 聖英 (金木小)

二位 山崎 友也 (金木小)

三位 田中 覚 (金木小)

// 中谷 透 (嘉瀬小)

(四年女子の部)

一位 三上 月絵 (金木小)

二位 対馬 綾子 (金木小)

三位 前田紗也香 (金木小)

// 原田 歩 (嘉瀬小)

(五年男子の部)

一位 倉橋 潤一 (金木小)

二位 吉田 統 (金木小)

三位 田中 翔 (金木小)

// 内海 和也 (金木小)

(五年女子の部)

一位 成田 顕恵 (嘉瀬小)

二位 角田 朝美 (金木小)

三位 澤田香緒里 (嘉瀬小)

// 山中美香子 (嘉瀬小)

(六年男子の部)

一位 白川 裕紀 (金木小)

二位 川口 哲人 (金木小)

三位 岩村 暢寿 (嘉瀬小)

// 伊藤 和公 (金木小)

(六年女子の部)

一位 阿部 南美 (金木小)

二位 福井 桂子 (金木小)

三位 原田 佳奈 (金木小)

// 山口 昌子 (金木小)

(中学生男子の部)

一位 白川 大貴 (南 中)

二位 田中竜之助 (金 中)

三位 大橋 大哉 (南 中)

// 秋元 大志 (南 中)

(中学生女子の部)

一位 伊藤 愛里 (南 中)

二位 鳴海 有香 (南 中)

三位 成田和歌子 (南 中)

// 富士美穂子 (金 中)

◆テニスの部

一位 山中良仁・中谷敬三

二位 中谷 桂子・夏坂 泰寛

三位 齋藤 和広・秋元 文子

// 阿部陽一・中谷すみ子

金木カップ 記念野球大会

創設十回の区切りとなった「金木カップ記念野球大会」が十月十四日、十五日の両日にわたって町運動公園野球場と多目的グラウンドを使用して開催されました。

この大会は、小、中学校及び小学校新人戦の部の三部門に、西北五地区より選抜された学校が参加。

小学校新人戦の部では、初めて試合に出る子らが守備に、走塁にとはりきってプレーをしていました。

結果は、次のとおり。

◎小学校新人戦の部

優勝 金木小

準優勝 川倉小

◎小学校の部

優勝 金木小

準優勝 小泊小

◎中学校の部

優勝 金木中

準優勝 金木南

平成七年度金木町 朝野球選手権大会

◆A級

優勝 C I T Y I I

準優勝 金木野球クラブ

// 金木町役場

優秀選手賞

松野岳彦 (男寿レクラブ)

齋藤和広 (金木町役場)

白川三治 (C I T Y I I)

山中 太 (上町クラブ)

小林 忍 (イーグルス)

長利俊司 (金木野球クラブ)

工藤 誠 (川倉愛球クラブ)

ホームラン賞

川口 均 (金木町役場)

藤元泰志 (金木町役場)

三塁打賞

中野功禎 (金木野球クラブ)

二塁打賞

加賀谷尚 (金木町役場)

最多勝利投手賞

中野功禎 (金木野球クラブ)

◆B級

優勝 藤枝太陽クラブ

準優勝 県信用クラブ

第三位 下山自動車

優秀選手賞

三浦 吏 (朝日クラブ)

齋藤裕之 (藤枝太陽クラブ)

種村嘉修 (アポロ吉崎)

今 和彦 (下山自動車)

島津泰博 (フービーズ)

木村 敦 (県信用クラブ)

ホームラン賞

神島敬一 (アポロ吉崎)

葛西幸一 (アポロ吉崎)

三塁打賞

白川 覚 (県信用クラブ)

田中道典 (藤枝太陽クラブ)

二塁打賞

工藤俊一 (藤枝太陽クラブ)

最多勝利投手賞

田中道典 (藤枝太陽クラブ)

ノーヒットノーラン賞

田中道典 (藤枝太陽クラブ)

産業まつり大会

◆お弁当コンクール

優勝 白川 セツ

優 白川 美穂子

// 白川 元 恵

◆俵かつぎ競争

◎小学生の部 (十kg)

優勝 秋元 淳 弥

準 勝 田中 誠 純

三 位 中村 陽 二

◎中学生の部 (三十kg)

優勝 棟方 俊 也

準 優勝 今 貴 洋

◎一般の部 (六十kg)

優勝 一戸 昭 浩

準 優勝 白川 三 郎

// 前田 芳 宏

◎おにぎり早食い大会

◎小学生の部

優勝 木下 慎 也

準 優勝 高橋 勝 巳

三 位 田中 翔 鶴

◎中学生の部

優勝 伊藤 敬 吾

準 優勝 齊藤 裕 介

三 位 徳田 裕 助

◎一般の部

優勝 齋藤 和 広

準 優勝 福井 周 平

三 位 沼田 和 哉

◆トランプ大会

優勝 奈良 俊 治

準 優勝 須崎 繁 男

三 位 渋谷 良 通

◆ストリート

バスケットボール大会

◎小学生の部

優勝 帰って来たドーナツ

準 優勝 ガラゲッテン

三 位 どんず

◎中学生の部

優勝 へなちよこチーム

準 優勝 ガッチャマンズ

◎高校生・一般の部

優勝 中村食堂

準 優勝 なるでんS

まちめできいせ

「長寿一番ストープ列車」運行



「10年ぶりに乗車しました。」と話す人も

「津軽鉄道」五所川原⇄中里間の二十・七kmの全面開業と同時に名物・「ストープ列車」が運行され、今年で六十五周年を迎えました。十一月一日から運行を開始した今年は、午前七時八分に中里駅を出発した一番列車に六十五周年にちなみ、近隣市町村から六十五歳以上の方を約三十名を招待しました。金

木町からは七名が参加しました。

ストープ列車は、戦時中の一時期を除き毎年運行されてきました。車内で参加者は、赤々とたかれたダルマストープを囲み「がんばれ！津軽鉄道応援団」（団長＝角田周）が用意した地酒やスルメ、シジミ汁に舌鼓を打っていました。ストープ列車は三月末まで運行します。

第四回ファミリーコンサート

町民の皆さんに生の演奏を楽しんでもらおうと、金木町商工会青年部が中心となり、海上自衛隊大湊音楽隊による「第四回ファミリーコンサート」が十月二十八日開催され会場となった中央公民館は、子供から大人まで四百人の町民で埋めつくされました。

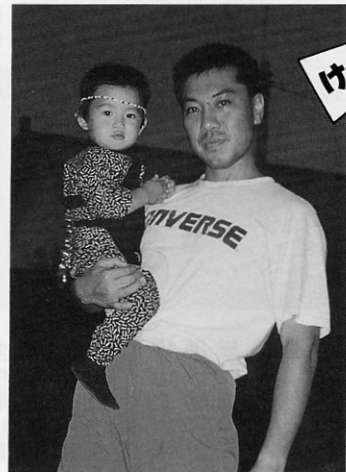
コンサートは、第一部に「後甲板にて」「セレナーデ」「道化師のギャロップ」等八曲。第二部は、「いちばん近くにいてね」「ある恋の物語」「ズルイ女」等の八曲が披露されました。厚みのある演奏に、皆んな終始聞き入っていました。



会場に演奏がひびきわたる

元気であらう

けっばれ



- ▶職業 埼玉入間駐屯地 航空自衛隊搭乗員
- ▶氏名 三上 耕司
- ▶年齢 29歳 ▶出身地 金木町若松町 ▶家族 4人

広報かなぎをご覧の一万三千人の皆様こんにちは。朝晩の冷え込みが一段と増してきた今日このごろ、いかがお過ごしでしょうか。現在私は、埼玉県入間市で家族四人元気に暮らしています。

高校卒業後、航空自衛隊に入隊し、今は入間基地で航空輸送機の搭乗員として、人員貨物輸送や各都道府県の体験搭乗を行ったり、先の阪神大震災では、救援物資を大阪空港まで運んだり、北は北海道から南は沖縄まで日本全国とところ狭しと飛び回っています。ハードなことばかりであるが、でもやりがいのある仕事だと思っています。

休日は、趣味の溪流釣りが、冬はスキーをしたりと充実した毎日を送っています。

勤務中ではあるが、たまに金木町の上空を通過する時、我が古里ながら、緑あふれる田園風景を見ると、改めて金木町の自然の豊さのどかさを感じます。

最後になりますが、その自然を残した町の発展を希望します。